

技術・知識だけではなく、社会に貢献できる
人材育成にも注力しています。

■ コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

大成グループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、
「経営の効率性ならびに透明性・健全性を高め、コーポレート・ガバナンス体制を充実させることで
株主・顧客をはじめとした会社関係者の信頼を深めていく」ということです。
そのため、グループ各社におけるコーポレート・ガバナンス体制のなお一層の整備を図り、
グループ全般にわたる企業価値の向上を目指しています。

■ 内部統制

大成ロテックは、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制、
その他業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)に関して取締役会において決議し、
適正で効率的な体制の実現を目指しています。
その具体的な施策および整備状況は下記の通りです。

1 コンプライアンス体制

「大成ロテック企業行動規範」をはじめとするコンプライアンス体制に係る諸規程
に加え、法令上疑義のある行為等について使用人が直接情報提供を行う仕組み
を定めた「内部通報規程」を整備しています。

2 情報管理体制

「社内用文書管理規程」等の文書・情報関連の社内規程を整備しています。

3 リスク管理体制

損失の危険の管理に関する規程である「リスクマネジメント基本規程」「リスク管
理規程」「事業継続計画(BCP)」に加え、近年社会問題化している情報漏洩対策
のため「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

4 企業集団における業務の適正を確保するための体制

大成ロテックおよび子会社からなる企業集団における業務の適正の確保のため、
「大成ロテックグループ会社運営要綱」を整備しています。

■ コンプライアンス研修

大成ロテックは、平成10年に「大成ロテック企業行動規範」を
制定。「法令等(法律、条例、慣習等の社会的ルール、社内ル
ール)の遵守と社会的良識をもって行動する」をスローガンに、継
続的な組織・体制の整備を実施しています。

また、役職員一人ひとりに対してコンプライアンスの精神を徹
底させるために、全社規模でコンプライアンス教育を計画。今
年度は、本社担当者による研修会を全国で24回実施しました。

ここでの内容は、大成ロテック企業行動規範並びに諸規定の
解説だけではなく、独占禁止法、建設業法、入札・談合から、セク
ハラやパワハラなどの人権問題にいたるまで、具体的な問題を
取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。



■ 人権研修

大成ロテックでは、役員、支社長、本社幹部社員を対象として
人権研修を毎年開催。研修を通じて人権・人格の尊重という大
命題を系統的に学ぶことにより、
差別の無い社会の実現と、社内
においてはパワハラ・セクハラな
どの無い良好な職場環境づくり
を目指しています。人権研修の
内容は、冊子にとりまとめて全従
業員に配布し、周知を図っていま
す。また、各種集合研修におい
て、人権に関するカリキュラムを
取り入れています。



■ 人事部研修

企業の社会的責任を果たしていくためには、技術の向上と人づくりが不可欠の要素であるとする当社では、上記の各研修に加え、
以下のように社員の各階層のニーズに即した多様な研修を実施しています。

- 営業所長研修
- 合材工場機械担当者研修
- 新任課長格・係長格研修
- マネジメント研修
- 工場マネジメント研修
- 基礎技術研修
- 工事担当者研修
- 営業担当者研修
- 情報化施工研修
- 一級土木一級舗装研修
- 管理担当者研修
- プレゼンテーション研修
- 販売担当者研修
- 新入社員教育
- 事業所長研修
- 合材工場品質管理担当者研修
- 統括安全衛生責任者研修
- 工事事務所長研修